

太子町幼小中一貫教育の取り組みについて

太子町の公教育でこれまでも大切にしてきた「心」の教育を幼小中一貫教育では「非認知能力」として捉え直し、取り組みます。

幼小中一貫教育担当者会を中心に、岡山大学で非認知能力の研究をされている徳留氏をアドバイザーとして招聘し、取り組みを推進。

令和4年度の取り組み

- 令和4年7月：教職員研修（資料①P3）
→幼小中で育む子どもの力について
教職員アンケート実施
- 令和4年8月：教職員研修
→幼小中一貫で育む子ども像を設定
- 令和4年9月～12月（資料②）
→非認知能力を育む学校園の実践開始
→保護者向け通信「Start Line」発行
→町立幼稚園にて地域公開講座開催
- 令和5年1月～
→事例集&実践ガイド発行（資料①）
→太子町広報への連載開始

太子町幼小中一貫で育む人

「豊かな人生とより良い社会を主体的につくるために
自ら考え・動き・相手を大切に出来る人」



① 系統的な行事による非認知能力の育成

- 1：幼小中一貫教育による、非認知能力の明確化と系統的指導
- 2：カリキュラムマネジメントシートによるつきたい力の系統的な見える化
- 3：キャリアパスポートによる子どもに伸ばしたい力の見える化

② 子どもが主体の授業・保育

- 1：つきたい力を明確にした授業改善
- 2：非認知能力の涵養を目指した幼児教育・質の高い保育
- 3：事例集&実践ガイドを活用した職員研修の充実

③ 太子町の公教育の発信

- 1：太子町広報への毎月の取り組み連載
- 2：太子町教育week（仮称）&地域フォーラムの開催
幼小中一貫教育の取り組みを地域・保護者への発信・説明
学校公開による町内・府内教職員への発信

1年目：教職員の交流

2年目：児童生徒の交流

3年目：カリキュラムの交流

